



2023年10月30日

各位

会社名 nms ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 文明
(コード：2162 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 河野寿子
(TEL：03-5333-1711 (代表))

**営業外収益（為替差益）の計上および
2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2024年3月期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）において、営業外収益（為替差益）を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月15日公表の2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想を修正いたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の計上

第1四半期末に為替差益373百万円を計上しましたが、第2四半期も円安の動向が続いたことにより、当第2四半期連結累計期間において、為替差益760百万円を計上する見込みです。これは主に海外子会社へのグループ内貸付金に対する評価替えおよび海外子会社間の取引等によるものです。

2. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 85,000	百万円 1,800	百万円 1,050	百万円 550	円 銭 35.39
今回修正予想 (B)	77,000	1,850	1,500	800	51.47
増減額 (B-A)	△8,000	50	450	250	
増減率 (%)	△9.4	2.8	42.9	45.5	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	79,033	1,537	1,426	505	32.52

3. 修正の理由

2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）連結業績は、前年度下期にあったお客様の挽回生産のあおりによる在庫調整に加え、米国および欧州経済における金融引き締めの影響や、最終需要減少によるお客様の減産等の影響もあり、売上高は前回発表予想を下回る見通しです。

一方、営業利益につきましては、これまで実行してきた事業構造改革の効果定着や、さらなる固定費の削減、また、製造現場においては生産ラインの自動化による生産性改善等、基盤強化施策の実効が上がっており、下期も堅調に推移する見通しです。

経常利益については、円安の進行による為替差益の発生により、前回発表予想を大幅に上回る見込みであり、当期純利益についても、営業利益の確保と経常利益増加により、前回発表予想を上回る見込みです。

世界経済の動向は、先行き不透明な状況が続く様相ですが、製造業における労働力不足や、国内および海外双方における機動的な生産体制構築、エネルギー関連製品需要の高まりなど、いずれも当社グループの好機につながるものであり、来期につながる取り組みも着実に進めてまいります。

以 上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。